

質問議員 杉浦 康一 議員

質 問 事 項 等

◎安心・安全について

○教育環境について

【質問】本納小学校の裏山の崖が土砂災害防止法に基づく特別警戒区域に指定されることになり、新治小学校との統合が見送られることとなった。この頃から保護者の中でも授業中に万が一大きな地震があった場合、裏山の崖が崩れるのではないかと不安視する意見も出ている。このような状況で、本納小学校の安全対策として早期に本納中学校内への移転を求める要望書が本納小学校PTA会長から市長宛に提出（8月1日）されたが、当局としてはどのように対応するのか伺う。

（教育長）

教育委員会としては、子どもたちの安全確保という視点から土砂災害防止法の区域指定を重く受け止めております。

要望書にありました本納中学校への移転につきましては、本納小学校に近いという利便性や空き教室の活用を考えますと、崖の危険性回避のための有力な移転先として今後前向きに検討してまいります。

【再質問①】本納中学校への移転について、前向きに検討するとのことだが、現在の本納中学校の余裕教室の状況で本納小学校の全児童を受け入れることは可能なのか伺う。

（教育部長）

本納中学校は、現在、普通教室が14室ございます。その内、現在7クラスを使用しています。本納中学校の学級数は、今後2、3年は7クラスから8クラスで推移し、その後6クラスになる見込みでございます。

したがって、普通教室は本納小学校が入っていくことは可能ですが、ことばの教室や特別支援学級の教室などの関係で増築が必要となります。

一般質問（平成30年9月議会）

第3回 定例会

質問事項及び答弁の概略

質問議員 杉浦 康一 議員

質 問 事 項 等

【再質問②】本納小学校が本納中学校に移転すれば、子どもたちの安全が確保されるだけでなく、小中の連携がさらに強化され、要望書にある小中一貫教育を進めていくこともできると思う。小中一貫教育を目指す中で、例えば、英語や理科の専門教科について、中学校の教諭が小学生を教えることで教育効果があがると思うが、それは可能なのか伺う。

（教育部長）

千葉県教育委員会より先生方は辞令を受けている訳でございますが、その兼務辞令の発令を受けることによりまして、中学校の先生が小学生を、小学校の先生が中学生を教えることは可能となります。

【再質問③】学校再編の実施計画では、本納、新治、豊岡の3小学校を統合することになっているが、本納小学校が本納中学校に先行して移転し、小中一貫教育を推進していったときに、新治小学校や豊岡小学校の教育内容の質に差が出るのが若干心配される。私が本納中学校に在籍していた頃は、3学年で15クラスあったと思う。若干の教室の増築が敷地内で物理的に可能であれば、この場所で3小学校の統合を早く進めた方が良いのではないかとと思うが、その見解を伺う。

（教育部長）

現在、本納地区の3つの小学校と本納中学校を合わせますと普通学級が21クラスになる見込みです。さらに、ことばの教室や特別支援学級の教室が必要となりますので、本納中学校敷地での3つの小学校の統合は、現時点では実現は難しいと考えております。

しかし、今後の児童生徒数の減少が見込まれている状況でありますので、今後、その可能性につきましても引き続き検討してまいります。